

取扱説明書

モトロー バイク用 高始動 バッテリー 12V ゲルタイプ

注文コード: 75897624, 84697535, 84697544, 84697560

このたびは、バイク用 高始動 バッテリー 12V ゲルタイプをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に本書を必ずお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。また、いつでも取り出せる場所に必ず保管
してください。

目次

1 安全な取扱いのためお願い	
2 バッテリーの安全な取扱い	1
3 使用前のバッテリーの取扱いと点検	2
■ 開封前後の取扱いと点検	2
■ バッテリーの清掃	2
■ 充電	3
■ バッテリーの持ち運び	3
■ バッテリーの取外し、取付け	3
■ 始動	4
4 使用中の点検	4
■ 補水	4
■ 端子	4
■ 補充電	4
■ バッテリーの寿命	5
5 その他の取扱い	6
■ 使用しない場合	6
■ 使用済みバッテリーの取扱い	6
■ 製品の保管	6
6 要項表	7

1 安全な取扱いのためお願い

ここに書かれた注意事項は、人体への危害や財産への損害を未然に防止するための内容です。

いずれも安全にお使いいただくためには重要ですので、必ずお守りください。

バッテリーを安全にご使用いただくために、正しい取扱いと保守・点検が必要です。

この取扱説明書では、お守りいただかないと人身事故につながるおそれのある事項を、
危害や損害の高い順に「危険」「警告」「注意」の3段階で表示しています。

	危険	この表示は、注意事項を無視して誤った使い方をした場合に、 「死亡または重傷を負う可能性が高い」内容です。
	警告	この表示は、注意事項を無視して誤った使い方をした場合に、 「死亡または重傷を負うおそれがある」内容です。
	注意	この表示は、注意事項を無視して誤った使い方をした場合に、 「ケガや傷害を負うこと、製品の破損やそれに伴う財産の損害が発生するおそれがある」内容です。

● 絵表示については、次のような意味があります。

	この記号は、禁止の行為であることを告げる絵表示です。 絵表示の中や近傍に禁止内容が描かれています。
	この記号は「危険」「警告」「注意」を促す内容があることを告げる絵表示です。 絵表示の中に具体的な注意内容が描かれています。
	この記号は行為を強制したり、指示したりする内容を告げる絵表示です。 絵表示の中に具体的な強制・指示内容が描かれています。

ご使用上の注意

【はじめに】 誤った使用方法により人的傷害や製品の破損、その他の物的損害が生じた場合、
一切の補償、責任を負いません。また、本製品の分解や改造、修理は、絶対に行わないでください。

2 バッテリーの安全な取扱い

⚠ 危険

- バッテリーの電解液は、腐食性の強い化学薬品の希硫酸です。失明、火傷の原因となりますので、取扱い時には保護メガネ・ゴム手袋を着用のうえ、十分注意してください。事故発生時は「電解液による事故時の処置」にしたがい処置してください。
- 電解液を皮膚、衣服、目に付けたり、飲み込まないでください。



■ 電解液による事故時の処置

⚠ 危険	目に入った場合	直ちに多量の清水で洗眼した後、速やかに医師(眼科医)の治療を受けてください。
	口に入るか飲み込んだ場合	直ちに飲料水でうがいを繰り返した後、多量の飲料水を飲み、速やかに医師の治療を受けてください。
⚠ 警告	皮膚、衣服に付着した場合	直ちに多量の水で十分に洗い流した後、さらに石けんで十分に洗ってください。
⚠ 注意	車両に付着した場合	直ちにウエスなどで拭き取った後、水で洗い流してください。
	床や地面にこぼれた場合	重炭酸ソーダ(重曹)などを泡が出なくなるまで散布した後、多量の水で洗い流してください。

- バッテリーからは水素ガスが発生(特に充電終期)します。引火爆発の原因となりますので、バッテリーの近くに火器(マッチ、ライター、タバコなどの火、溶接機やグラインダなどの火花、端子部のスパークなど)を近づけたり発生させたりしないでください。



- バッテリーを密閉された環境で使用しないでください。引火爆発の原因となります。
- このバッテリーはオートバイなどのエンジン始動用および点火ならびに点灯以外にはご使用にならないでください。他の用途に使用すると引火爆発などの原因となります。この用途以外にご使用になる場合は当社、もしくは使用機器メーカーまでにお問い合わせください。



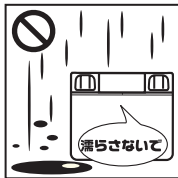
警告

- バッテリーを転倒させたり、衝撃をあたえたりしないでください。
電解液が漏れ失明や火傷の原因となることがあります。



注意

- バッテリーを水や海水のかかるような環境で使用しないでください。
バッテリーの破損や火災の原因となることがあります。

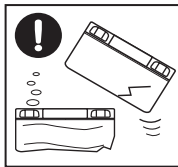


3 使用前のバッテリーの取扱いと点検

※ この項の内容は取扱い手順にしたがって説明しておりますので、必ずお読みくださるようお願い致します。

■ 開封前後の取扱いと点検

バッテリーは電槽にヒビ、割れ、欠け、変形、異臭がないことを確認し、投げたり、落下させたり、倒したりしないよう丁寧に取扱いください。



注意

- 開梱後、バッテリーの外観を点検し、電槽にヒビ、割れ、欠け、変形、異臭がないことを確認してください。異常が認められた状態で使用されますと機器を傷めるほか、漏電し、火災の原因となることがあります。
- バッテリーは大きくなると重量物です。ケガの原因となることがありますので、落下などに注意してください。



■ バッテリーの清掃

バッテリーを使用する前に必ず排気口のゴミやほこりなどを取除いてください。

⚠ 危険

- ゴミや埃などで排気口が詰まった状態のまま注液、充電、車両への取付けを行うと電槽が破裂し、失明、火傷や車両などを腐食する原因となります。



■ 充電

- 冬季低温時および製造後長期間経過したものなどエンジン始動が不十分な場合、充電を行ってください。
- バッテリーは子供に触れさせないでください。

■ バッテリーの持ち運び

バッテリーの持ち運びは、バッテリーの底を持ち、水平な状態で行ってください。

■ バッテリーの取外し、取付け

バッテリーの取外し、取付けは必ずエンジンを止めキーを抜いてください。取付けは振動などで動かないよう車両にしっかりと取付けてください。

古いバッテリーを取外すときは必ずアース側(⊖端子)から始め、新しいバッテリーの取付けは⊕端子から始めてください。また、絶対に逆接しないよう、注意して取付けてください。

(取付け後は端子部に錆止めのためグリースを塗布してください。)

⚠ 危険

- バッテリーの取扱い方法や危険性を十分理解していない者(子供などに)に取外し、取付けをさせないでください。引火爆発や失明、火傷の原因となることがあります。
- バッテリーを取付ける際、金属工具などによって⊕と⊖を接触させないでください。ショート火花により引火爆発の原因となります。

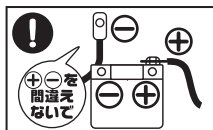


⚠ 警告

- バッテリーの取外し、取付けは必ずエンジンを止めキーを抜き、ライトなどのスイッチがON(入)の状態では行わないでください。引火爆発の原因となることがあります。

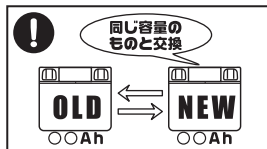


- バッテリーの端子は⊕と⊖を間違わないよう注意し、確実に車両のリード線に取付けてください。電気回路の故障や配線の焼失、引火爆発の原因となります。



⚠ 注意

- バッテリーは、振動などで動かないよう車両にしっかりと取り付けてください。取付けが不十分であると、転倒や液漏れの原因となることがあります。
- バッテリーは、搭載されているものと取り替えてください。取り替えを誤るとバッテリー内部が破損し、爆発の原因となることがあります。



- バッテリーは端子位置の異なるものと取替えないでください。接続を誤ると、接続ケーブルの損傷や車両火災の原因となることがあります。

■ 始動

車両への取付けが完了したらエンジンを始動してください。なお、始動操作は5秒以内とし、1回で始動しない場合は10秒位休止後、再び始動操作を行ってください。ただし、この操作を数回行っても始動しない場合は、バッテリーや始動回路などを調べてください。〈始動しない場合は要項表を参照して充電をしてください。〉

※ 最初の始動はキックの付いている車両ではキックスタータをおすすめします。(バッテリーを長持ちさせる秘訣です。)

4 使用中の点検

■ 補水

- 本製品は液面点検・補水は不要です。

本製品は、電解液面点検・補水はできない構造になっています。密封栓を外しての補水は、短寿命となるほか液漏れの原因となりますので絶対に行わないでください。

■ 端子

バッテリーは常に清潔にしてください。硫酸が付着していると車体、端子およびケーブルが腐食します。腐食を発見したら直ちに水で洗い乾燥させた後、グリースなどを塗布してください。ボルト、ナットの腐食が甚だしい場合は新品と交換してください。

⚠ 警告

- バッテリーの端子を改造しないでください。引火爆発や液漏れの原因となることがあります。



⚠ 注意

- バッテリーの端子に直接電気機器を接続しないでください。配線が焼損し、車両火災の原因となることがあります。

■ 充電電

エンジンが始動しなかったり、ホーンの音が弱かったり、ウインカーが点滅しないなどの場合は、バッテリーが放電していますので、要項表もしくはバッテリーに示す充電電流と充電時間で充電を行ってください。放電したまま放置すると使用できなくなります。

※ ゲルバッテリーの充電に最適な機能を有するオートマチックチャージャーのご使用をおすすめします。

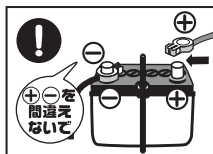
⚠ 危険

- 充電器は、電源がOFF(切)になっていることを確かめてからお使いください。ON(入)の状態ではバッテリーに接続するとスパークが発生し引火爆発の原因となります。
- 充電は風通しの良いところで行い、火気を近づけないでください。引火爆発の原因となります。



⚠ 警告

- 充電器の⊕側とバッテリーの⊕端子、充電器の⊖側とバッテリーの⊖端子を接続してください。接続を誤ると、電気回路の故障や配線が焼損する原因となります。
- 車両に取付けた状態での充電器による充電は行わないでください。バッテリーの引火爆発や車両機器の損傷の原因となることがあります。
- 補充電は要項表もしくはバッテリーに示す充電電流と充電時間を守ってください。液漏れや引火爆発の原因となることがあります。なお、急速充電はできるだけ行わないでください。



■ バッテリーの寿命

バッテリーは使用中に、その容量が徐々に低下し、寿命となります。
補充充電しても性能が回復しないのは寿命です。

- 寿命は、次の要因によって短縮されます。
 - 高温(エンジン周囲の温度、環境温度。)
 - 使用頻度(使用が少なすぎても、多すぎても影響を受ける。)
 - 充電不足(発電機の故障などによる供給不足。)
 - 苛酷な使用(寒冷地での多用、充電不足での使用など。)
 - 保守の不備(端子部分の緩みによる接触不良、ランプ類の消し忘れなどによって、バッテリーあがりした場合。)
 - 過剰な充電(レギュレータの故障、完了時点を過ぎても充電を終了しないなどで充電し過ぎた場合。)
- 寿命末期には次のような兆候が起こります。
 - スタータモーターの回転音がいつもより低くて弱い。
 - アクセルの回し加減で、ヘッドランプの明るさが変わる。

これらの兆候が現れたときは、P4～5の「補充電」にしたがいバッテリーを充電してください。補充電後も兆候がなくなる場合は、バッテリーの交換をおすすめしますので、新たにオートバイ用バッテリーをお買い求めください。



5 その他の取扱い

■ 使用しない場合

車両を長期間使用しない場合は、バッテリーを車両から取り外し要項表もしくはバッテリーに示す電流で補充充電した後、換気の良い火気の無い、子供の手の届かない場所に保管してください。

※ この場合、バッテリーは少なくとも1ヶ月毎の補充電をおすすめします。

■ 使用済みバッテリーの取扱い

使用済バッテリーはリサイクルされます。

ご不要になった使用済バッテリーを放置したり、一般のゴミと一緒に捨てないでください。



Pb

リサイクル推進にご協力を!!

⚠ 危険

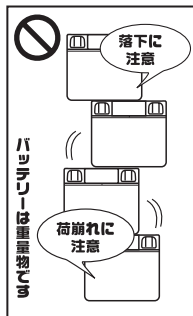
- 使用済バッテリーには金属工具などにより⊕⊖を接触させたり、火気を近づけたりしないでください。引火爆発や火災の原因となります。



■ 製品の保管

⚠ 注意

- バッテリーは水平な場所に保管してください。荷崩れによる落下、破損の原因となることがあります。
- 高温、高湿、雨霧や直射日光を受けるところ、有毒ガス、液漏れ、粉塵発生、浸水および水没のおそれのある場所には保管しないでください。バッテリーおよび包装破損の原因となることがあります。



- 転倒させたまま保管しないでください。液漏れ、火災の原因となることがあります。
- 他の物体が落下してバッテリーを破損させない場所に保管してください。破損、液漏れの原因になることがあります。



6 要項表

注文コード	形式	電圧(V)	容量 10時間率 (Ah)	充電 電流 (A)	充電 時間 (時間)	電池 質量 (約Kg)	専用電解液
12Vバッテリー(ゲルタイプ)							
75897624	MNX4L-BS	12	4.0	0.4	5~10	1.4	充電済み
84697535	MNX5L-BS		5.0	0.5	5~10	1.8	充電済み
84697544	MNX7L-BS		7.0	0.7	5~10	2.3	充電済み
84697560	MNX9-BS		9.0	0.9	5~10	2.9	充電済み

■ 保証基準

当該バッテリーが保証期間内、または材料の不具合により「使用不能」となった場合は、弊社お問い合わせ窓口までご確認の上、無償にて新品と交換させていただきます。

それ以外の責(出張サービスやJAF代金負担など)はご容赦ください。

■ 適用除外

- (1) 記載の車両以外の車両やエンジン始動以外の目的で使用された場合。
- (2) 本バッテリーが適合しない車両に使用された場合。
- (3) 使用上の酷使、手入れ不十分、過失または事故によって生じた不具合と認められる場合。

不具合と認められる場合。

- 例
- a) 電装品などの故障、欠陥、欠損により生じた不具合。
 - b) バッテリー本体に改造を加えたり、過大な負荷を増設して使用したために生じた不具合。
 - c) 保管期間中、放電したままで放置される場合。
 - d) 電槽あるいはフタが変形、破損している場合。
 - e) 取扱説明書に示された補充電方法以外で補充電を行った場合、または逆接続で充電された場合。

- (4) バッテリーの使用者と購入者が異なる場合。
- (5) 火災、地震、動乱、その他の不可抗力により生じた破損、故障、機能低下。
- (6) 補充電により機能が回復するもの(機能が回復した場合、補充電料は有料となります)。
- (7) 車両に原因がある場合(レギュレータの設定、電圧不良の場合など)。
- (8) 不具合の発生した車両のチェックができない場合。